

第四期 第三回 np.広告学校 議事録

米村クラス【ユースホステル】①

◆日時

2011年6月6日(月)

◆出席者

鶏肉、ベトナム、まばたき、ミミミ、餅、まる、キャサリン、

ちゃい、たこやき、りんご園、猫屋敷、生郎、えいじ 生徒15人(女性7名男性6名)

+米村 だっち ポッキー 小霜(短時間)

米村：ターゲットとインサイトを貼っていきグループ化する。

ここに紙とポストイットを用意した。

こういうターゲットにはこういうインサイトがあるんだよねっていうのをグループ化する。

発表されたのを貼って行って、どのターゲットのどのインサイトに対してユースホステルの魅力が新たに顕在化する可能性があるのかを考える。

広告っていうのは絶対の正解はひとつではないからどこに1番注意を向けるが一番大切。

自分は思いもなかった。こっちの方が可能性があるな。おもしろそうだな。やりがいがあるな。

一か八かだけどあたったときはおもしろそう。そういったものが出てくる。

グループ化して、言ったことを思い出せるようなキーワードを書いていく。

米村：早速発表でいいですか。ちゃいさん、お願いします。

※A案→オーソドックス案 B案→奇抜案

〈ちゃいのストラテジー〉

A案

「フォーカスポイント」

ユースホステルはその夜限りの集いであるため、一期一会の瞬間がある。

「ターゲット」

カメラ女子(具体的には年齢不問、一眼レフ使用者)

「接点」

瞬間(一期一会というユースホステルの特性と瞬間を大事にするというカメラの特性)

「動き」

軽量化やカラーバリエーションの展開によるカメラ女子人口の拡大。

B案

「フォーカスポイント」

同じ部屋の人が知らない人であり、かつ相手を選べない。

「ターゲット」

恋愛で火遊びをしたいと考えている学生(男女問わず)

「接点」

全くいつもと違う環境で何の打ち合わせもなしに魅力的な異性に会えたら、旅の効果も合わさり、恋愛に発展する。

「動き」

不況であったり海外情勢がよくなかったりする中、相対的に国内の旅行の需要が高くなるのではないかな。

ちやい：A案が普通に考えれば出てくる案です。フォーカスポイントはユースホステルがその夜限りの集いであるため一期一会の瞬間がある。

ターゲットはカメラ女子。年齢は気にせず、一眼レフを使用している人を想定。接点は瞬間。

動きは一眼レフの軽量化やカラーバリエーションの展開によりカメラ女子の人口が拡大している。

フォーカスは素泊まりだからその日に会った人はその日にしか会えない。一眼レフを使う人はその一瞬一瞬を大切にしている人だから、その一期一会を大事にするのかなと思いました。なぜ女子にしたかという、旅が好きなのが自分の周りでは男より女の方が多いので、カメラ女子としました。

動きはさっき言ったとおり、動きは宮崎あおいが出てるCMなど一眼が軽くなって女の子向けで売り出してるから人口はまだ拡大していくのだろうなど。

B案のちょっと変わった案

B案のフォーカスポイントは同じ部屋の人は知らない人であり、相手を選べない。ターゲットは恋愛で火遊びをしたいと考えている学生。男女不問。接点はいつもと全く違う環境で、偶然魅力的な異性と会えたら嬉しい。ひとり旅だとちょっと不安、そんな中だとドキドキ感も増すのではないかな。

動きは海外情勢が良くないなか、国内旅行に安く行きたい。

誰か相手を選べないのは基本的にはマイナスだと思う

けどそれは誰かとは出会えるし、男女が一緒なら出会いはある。その出会いを恋愛で考えてみようかなって思いました。

恋愛は恋愛市場と浮気市場、結婚市場に分類できる。ぱっと出会った人は結婚につながりにくい。

その夜限りだと浮気が1番ターゲットにしやすかったら火遊びということにしました。

また年を重ねるにつれ、好きじゃ恋愛できないということで学生と設定しました。

インサイトを考えるとどういうことか？

A案：カメラ女子のインサイトを考える。

米村：カメラ女子のインサイトは何？

インサイトがすごく大事。今のはインサイトを言っていないけど、例えばカメラ女子のどういうインサイトに対してユースホステルは可能性がある？

ちやい：撮りたい一瞬が現れるのがユースホステルでないか？

一眼レフを使ってる人は旅行に行き、特に自分だけの体験を撮りたがるのではないかな。
かけがいのない一瞬はどこに現れるかと考えたときにユースホステルにはあてはまるのではないかな。

米村：インサイトを考えるとき、ユースホステルとつなげてはいけない。

カメラ女子はどういう思いがあるからカメラにはまるのかを考えるのが大事。

インサイトを考えるときはユースホステルとつなげなくていい。カメラ女子というひとつの塊があって、彼女たちはどう考えているのか？ユースホステルについてどう思ってるかを考えてもインサイトは出てこない。ユースホステルについてなど考えてないから。

足がかりになるかもしれない旅とか出会いとかに対して普段から思っていることとかはあるかもしれない。もしかしたら意識が向いていないかもしれないけど、カメラ女子は普通の女の子にはないこういう思いがあるからその女の子はカメラにはまる。

そこを考えるのが大事。瞬間の動きを捉えたいのはインサイトではない。

ちやい：瞬間が好きだからたまたまカメラに走った？

瞬間瞬間が好きだからたまたまカメラに走ったのではないのでしょうか。

米村：一瞬一瞬が大切？

ちやい：一瞬が表情に見える人がいる、その瞬間を大切にしたい。

米村：それはどういう瞬間？

ちやい：写真をとる瞬間です。

米村：どういうときに写真撮るの？

ちやい：ここの場しかないみたいなの。そのときのシーンや話していたことがわかったりするようなとき。

米村：カメラ女子はなぜカメラにはまったのか？

カメラ女子はなんでカメラにはまったの？

えいじ：カメラ女子は自己表現したいのでは？

カメラ女子は自己表現したいのでは？

毎日過ごしてる上で自分のクリエイティビティを表現するのが絵なのか写真なのか、文章なのか。

自分のクリエイティビティを伸ばしたいと思い、たまたまカメラを手にとったのではないかな。

カメラ女子の方いますか？

鶏肉：インターネットの影響もあり、自己表現をすぐ皆と共有できるからなのでは？

私は、カメラ女子ではないけどカメラ女子になりたかった人です。

特にみんながインターネットで写真を上げるようになったからカメラを持ちたくなった。

すぐに共有できる。事故表現を見てもらえる。それを人にいいねって言ってもらえる。

画質が良いままアップしている人が私の友人の中では多かった。

やっぱり撮ったからには見てほしいっていうのがあって、自己表現としてこだわっているのではないかな。インターネットの影響も大きいんじゃないかなって。って思います。

ベトナム：日常の見過ごしているものに気づけるので、一日を大事にしたいという気持ちがあるのでは？

私も写真アップはしないけど、大学のころから撮るのは好き。

見てほしいっていうよりも、忙しい日常にカメラをもって歩くことで、見過ごしているものに気づけたりする。カメラ女子が増えているのも1日を大事にしたいという気持ちもあるんじゃないかな。

米村：端的にいうと？

長い文章はインサイトとは言わない。それを端的に2,3行でまとめると？

ベトナム：1日を丁寧に過ごしたい。

米村：記録に残したいってことではない？

ベトナム：イコールそういうことになりますね。

インサイト案 自分の生活を記録に残したい。

米村：自分の生活を記録に残したい。

鶏肉：一眼レフを使うのは記録だけではないかも？

でもわざわざ一眼レフを使うのは記録以上に気持ちが入るのかなって。大切にしたいって感じ。

米村：一眼レフ以外はカメラ女子ではないのか？

カメラ女子って一眼レフじゃなきゃカメラ女子って言わないの？

鶏肉：写メでは言わない。デジカメはOKだけどiphoneではいわない。

ミミミ：instagram 女子が増えている。

instagram やってる人っていますか？写真とって簡単にボラロイド風の高ぼけた写真にしてアップしてみんなに見せられる。そのinstagram 女子は増えてきているような気がする。

あれっていい感じにしてアップするとみんながイイネ！をやってくれて自己満な感じになれる。

今までだとフォトショとかで加工しなければいけなかったのがこれのできるようになった。

鶏肉：トイカメラ風な？

ミミミ：そうそう。そういうのを一瞬でできる。

それがTLにがっとならぶ。そういうのをやるinstagram 女子が増えているの。

米村：instagram 女子はカメラ女子か？

instagram 女子はカメラ女子と違うの？一部？

ミミミ：デジタルだから違うと思う。

わざわざ加工するのは一眼レフ持ってないけど、雰囲気大事にしたい。

凝り性だとカメラ女子に変化する。

キャサリン：ちょっと本物志向というか極めたいわけじゃないけど…みたいな。

ミミミ：なんちゃってカメラ女子？

なんちゃってカメラ女子ってかんじかな。

えいじ：カメラ女子はおしゃれさを求めているのでは？

カメラ女子はおしゃれさかなって。そんなに真剣にカメラを極めたいわけじゃないけど、持ったらセンス良く見えるし、使ったらセンス良くなりそう。って感じなのかも。

キャサリン：普通に持っててもかわいい。アクセサリ感覚もあるかも。

米村：自己表現と記録に残したいという気持ちは違うのか？

さっき言ってた自己表現したいっていうのと、自分の生活を記録に残したいっていうのは違う？
自己表現は人に見せるのが前提。自分の生活を記録したいっていうのはそういう感覚はないの？
人に見せたいっていう感覚。ライブラリに溜まっていけばそれで満足？

ベトナム：記録の延長線に自己表現がある。

ブログとかでアップしたりするから記録だけじゃなくて人に見せたいっていうのもあるかな。
延長線上に自己表現がある。

米村：ちやくんのはインサイトとユースホステルの接点になっていない。

じゃあちやくん、その気持ちとユースホステルの接点って何？
そういうインサイトの掘り下げになっていない。

B案：ターゲットとインサイトを考える。

米村：B案の火遊びしたい男女は出会い系ではダメなのか？

もうひとつの恋愛で火遊びしたい男女っていうのは出会い系サイトと何か違うの？

ちやくん：違うのは旅行っていう点だけど、そこまで差別化できなかった。

これこそっていうのは旅くらいだけ。京都で出会って、次の日一緒に巡るくらいしか思いついて
なかった。

米村：ターゲットのインサイトは何だろう？なぜ彼氏彼女じゃダメなのか？

このターゲットのインサイトって何だろうか？その日だけ付き合えるような人がほしい。
なんで彼氏・彼女じゃダメなの？

ちやくん：旅行がメインで、恋愛はおまけ的な感覚。

手軽で楽。いるけどあったら嬉しい、おまけ的な感覚。旅行がメインで、恋愛はおまけ。

米村：じゃあ旅行の好きな人で、旅行の間だけの彼氏・彼女が出来たらいいなと思ってる人がターゲット
じゃないの？

ちやくん：そうなります。

米村：年齢制限はしない？

ちやくん：はい。

米村：インサイトを皆で考えよう。

誰かこういうインサイトじゃないかなって思う人はいないですかね？

えいじ：旅行プラスαでそういうことしたい人のインサイトって何ですか？

餅：旅行を隠れ蓑に悪いことをしたい？

そういう人って旅行を隠れ蓑に悪いことをしたいんじゃないんですかね？

米村：どっちがメインなの？

ちゃい：男だけの旅行の時、女の子ほしいなど。

自分の想定ではプラスαくらいだった。

観光メインで夜だけってイメージ。

男だけの旅行だったら女の子ほしいって話をしたことがあって。

米村：同性だけの旅行の人たち？

ちゃい：はい。男だけで行って、現地で捕まえたって話も聞いたからありなんじゃないかと。

米村：同性だけで旅行する目的は？

同性だけで旅行する目的って何だろうか？

ちゃい：卒業旅行だと、メインは旅行でそういう女の子と楽しめればなおいい。

楽しんでそういうのもあればいい。だからメインは旅行。例えば卒業旅行。思い出をつくりたい。

米村：年齢は決めないというターゲットの絞り方とずれてきている。

卒業旅行っていった時点で年齢しぼられるよね？どこがターゲット？年齢は決めないっていったけどずれてきている。

ちゃい：ニーズじゃないけど、同性で旅行行く人はどの世代でもいると思う。

米村：ターゲットはもう少し絞った方がいい。

おれと小霜とだっちで旅行行くくらいなら家族サービスする。って考えるとターゲットはもうちょっと絞った方がいい。

ちゃい：ならば学生の時間余ってる人と、バカできる社会人も。

米村：バカすることに興味がない人はターゲットではない。

それってやっぱりバカするのがメインだね？バカすることに興味がない人はターゲットではない。

ちやい：興味がない人にはそのまま本来の目的で使ってもらえばいい。

小霜：一瞬を切り取りたいというのはインサイトではない。

きれいごとをインサイトと言っていると人間がわからなくなる。

カメラ女子のインサイトが一瞬を切り取りたいってのはインサイトではないと思う。

広告っていうのはきれいなコピーでやったりするけども、深い本音は察してくれよってこと。

きれいごとをインサイトって言っていると人間がわからなくなってくる。

例えばカメラ女子はケーキを撮ったりする。これは一瞬の切り取りではない。

どうしてこれをするんだろう。いい写真を撮って尊敬されたいのかもしれない、つながりたいて思ってるのかもしれない。ブログにあげることでゆるいつながりをつくりたいのかもしれない。そのつながる手段がカメラなのかもしれない。もしかしたらスキルアップ欲かもしれない。

人間の欲求はもっと根源的なもの。そこが抑えられればつながっていく。

例えばつながっていたいと思う人がここに行けばつながれるって場があればそこに行く。

人間の奥底にある動機を見つける事がインサイトを見つけるということ。きれいごとではいけない。

本当の本当の奥底にある動機を見つけていくことがインサイトを見つけるというもの。イメージでこうだよってというのはつくりごとだからインサイトじゃない。本人じゃないからわからないということならターゲットに聞くなり、インターネットで調べたりする。

そういうことをやらないで表層的なものを切り取るのはインサイトじゃなくてきれいごと。きれいごと、つくりごとじゃないものを見つけていくという事をやっていく。

でも、表現するときはどろっとしたものそのままじゃなくて、それを再度きれい事化して表現する。

B案の「恋愛」は健全な発展ではない。

恋愛の方は直感的にうさんくさい。あと実際に今ユースホステルを使ってる人たちのイメージをぶちこわしてしまう。

会合っていうのはアンダーグラウンドな話。会合系とかに足をつっこんでいくことだから、健全な発展ではない。

ミスチルじゃないけど恋愛はつくるものじゃなくて、気がつけばそこにあるもの。つくと売春とかそっちの方に行ってしまう。健全な発展を目指して、たまたま恋の花が咲くのは知りませんよっていうのだったらあるだろうけれど、ここで恋の花を咲かせましょうっていうのは社会的には認められない。

米村：ポリシーとして世の中の役に立つ、存在するべき価値があるという方向で考えた方がよい。

そんな企業のポジティブな思いを伝える事。

インサイトを考えるときはきれいごとを表層的につまんでもわからない。一方で広告メッセージは基本的には世の中に役に立つはず、存在価値があるという、その商品に携わってる人の思いをつたえる。そしてそれは、ポジティブな思いであるべき。僕は結局は志を共感される企業の方が長く残っていらっしゃると思うんだよね。工口雑誌の広告を考えてくれと言われたとしても、これで何らかの犯罪が減っていると思うなど、なるべく世の中に何らかの役に立つ、世の中を良くしていると考えて行こう。考える筋道はそういう方向にした方がいい。じゃあ次の人いこうか。

〈餅のストラテジー〉

A案

競合商品 超安価ビジネスホテル、その他ホテル、インターネットカフェ等	
メリットとデメリット	
+	-
安価 情報の入手 交流の広がり、一人旅の癒し	アメニティ不備 年間パスへの課金の必要※ プライバシー（≒鬱陶しさ） セキュリティ
※宿泊費に規定の額を上乗せすれば年パスを持たずに利用することも可能	
利用者（ターゲット） 1～少数人旅行者、特にバックパッカー（YH最盛期＝バックパック世界一周最盛期） →更に年齢層でフィルタリング 安価を最大の魅力にもつため経済的に余裕のある最盛期のユーザーよりも、若者による認知度を上げ、さらにブームを起こすのが持続的な利用者の増大に繋がると考えられる。 ⇒ 1～少数人旅行者の若者	
メディア 若年層での認知度を上げるためには、SNSに広告を出す、SNS上でキャンペーンを行うなど。若者の旅行についての下調べ・ツールがインターネットを主とすることを利用。 さらに旅券・航空券の安価販売業者と組んでキャンペーンを考える、またそのようなサイトに広告を出す。	
広告イメージ案 サークル感覚の印象を与えることで、より身近なものだと捉えてもらう方針。 若年層にむけてポップで、システムの要点をわかりやすく示すことが必要である。不信感や不安を限りなく払拭していきたい。	

餅：A案について、ターゲットはひとりから少人数で旅行する若者にする。そもそものユースホステルの対象の人。お金がある人にはそんなに魅力的じゃない。ユースホステルは安価なことが1番の魅力であるため、若者に知ってもらうのが1番効率的。利用者の増加につながると思った。
メディアを考えた時、インターネットを調べる、特にSNSはよく見ているのでそこに広告を出す。旅券などの安価販売店と組むのが効率的。広告イメージとしてはサークル感覚で楽しめるっていうのが1番魅力的なんじゃないかな。出会いがあって、わいわいできて楽しい旅行ができるよって押し出す。

インサイトを考える。

米村：ターゲットの若い旅行者のインサイトは？

若い旅行者のインサイトは何だろう？ユースホステルは考えなくていいから、彼らの思ってること。

若いひとり旅をする人は何を考えてるからそういうことをしたがるのかな？

インサイト案 **新しいものが見たい、刺激がほしい。**

餅：新しいものが見たい、刺激がほしい。

餅：ひとりで中国行ってきたぞ、どやみたいな。

米村：それは人に自慢したいってこと？

インサイト案 **自分に自信をもちたい。**

餅：自分に自信をもちたい。

ミミミ：大学の時に京都にひとり旅に行った。テーマは桜の季節に自由気ままに時を過ごす。

行った理由としてはかっこいいし、周りも行ってるから嗜みかなと。

帰ってから周りにひとり旅よかったよと話したりした。

米村：かっこつけたい？

インサイト案 **まわりにかっこつけたい。**

ミミミ：まわりにかっこつけたい。

はい笑。そういうインサイトありました。

ちゃい：旅行行きたいけど他の人とスケジュールあわない。休みの日があわないから一人で行ったっていうことは？

米村：それはどう思っているの？人にスケジュール合わせるのが面倒だとか。

ちゃい：行きたいけどスケジュールどうしてもあわせられない。

米村：合わせられないことに対してどう思っている？

ちゃい：人と時間を合わせるのがめんどくさい。

インサイト案 人と時間を合わせるのがめんどくさい。

米村：人と時間を合わせるのがめんどくさい。

キャサリン：あと人と行動を合わせるのがめんどくさい。気ままに動いていたい。

インサイト案 気持ちをリセットしたい。

ベトナム：気持ちをリセットしたい。

気持ちをリセットしたいっていうのも。失恋したことをきっかけに気持ちを真っ白にしたいっていうのもよく聞く。

キャサリン：語学だったり能力を試したい。知らない土地でどこまでコミュニケーションをとれるのだろうだったり、美術のセンスがあってストリートでどこまで売れるのだろうだったり。そういうのを確かめたい。

米村：そういうことした人この中にいる？

キャサリン：私は韓国に就職しようと思ってるけど、どこまで日常生活に支障がないか確かめに行った。

米村：それはちょっと違うかな。準備だよね。自分の可能性を試したいっていうのとはちょっと違うんじゃないかな。

ミミミ：ひとり旅は自分を成長させたい。

ネガティブな気持ちでわざわざ旅行行かない。みんなで行くのも楽しいけど、ひとりで行けば新たな発見がある。今の自分よりちょっと成長したいっていう気持ちはある。プラスな気持ちが働くから旅行に行くんだと思う。

米村：成長するってどういうこと？

鶏肉：成長はしっくりこないかも。

餅：でもそういう気持ちで行く。結果は別としても。

鶏肉：気持ちの上での成長。何かできるようになるとかではない。前よりちょっと考えるようになったぞとか。

米村 : 半年間アメリカ行ったことがあって、1 番よかったのは日本を客観視できるようになったこと。日本のことを何も知らないということを知ったし、日本とアメリカを中心に世界が回っているという気持ちだったのが間違いだと思った。人種差別も世界基準だと差別される側だとわかった。意図してなかったが行く前とは変わった。

インサイト案 自分を変えたい。

鶏肉 : 見方、考え方が変わるんじゃないかという期待。度合いは別として何か変わりたい。そのために環境を変えてみる。

米村 : 他には何かある？

ポッキー : 僕は頭をリセットするためにだったかな。

マイナスなときにゼロにするために行った。行き詰まりを解消って感じだったかな。

インサイト案 自分探しをしたい。

生郎 : 自分を見失ったときにひとり旅に行くかな？自分探しのなもの。

中田英寿みたいな。環境を変えることで自分を相対化して見られる。

米村 : 自分探しを別の言葉で言い換えると何なのかな？

生郎 : 知らないところに行って、東京で考えられないことを考える。

まばたき : 日常から脱却したい。

自分を知っているひとがいないとこで、自分も知らないところに行くのが日常からの脱却。

りんご園 : それはどっちかというと社会人の方が多いのかも。

働いてて忙しいから、その環境からいなくなりたい。

米村 : 若いひとり旅でなくなるかも。

りんご園 : 大学生は言葉古いけど自分探しになるのかな。

でもなんで自分探しをしたいかはわからない。何か経験しとかないと波に乗り遅れるのではないかと思うのかな。

猫屋敷 : ストレスですかね？

鶏肉：旅はもどってくるものだから。

自分がこれからどのように人と関わるのかだったりポジションを考える。改めて自分を見る機会。

えいじ：就活偏差値を上げたいってのもいますね。

米村：行ったらあがるの？

ちやい：行ったっていう事実がほしいんじゃないか。

ベトナム：卒業するときなど大きな区切りのときに行くのかな。

自分の中の一旦の区切りとして。自分を知りに行く。

米村：区切りをつけることでどういう気持ちになるのかな？

インサイト案 次のステージに進みたい。

ベトナム：次のステージへ進みたい。今よりいい生活にしたいという気持ちがあるのかな。

もやもやを晴らしたり、行き詰まりを解消したり。

米村：今のA案はこの様なインサイトが足りない。

てな感じでインサイトが足りないよね。じゃあ次行こうか。

B案

ターゲット

1～少数人旅行者の中から、**<婚活女子>**に焦点を当てる。

- ・旅行先なので現地情報や（その場にいる人が旅行好きという前提から）これまでの旅行の話など、話題に困らない
- ・出会える←普段は鬱陶しく感じられても、婚活という目的のもとであれば積極的に楽しめる。憧れの国際結婚！などと煽るのも効果的かもしれない。
- ・あえて年齢層（30代など）は定めない。

メディア

女性誌に限定。

世間に広くアピールしすぎることによる揶揄の対象になる可能性を避ける。

活動的な森/山/釣り/フェスガールを効率的に取り込む。

広告イメージ案

- ・YHファッション（華やかな旅への憧れから一旦ターゲットを遠ざけ、カジュアルかつオシャレな新しい旅ファッション=旅ガール？）の提案
- ・<婚活>のワードをこっそり盛り込む。あからさまだと劣等感をそそる可能性？
- ・頼れる旅好きな男性とのカップリングをビジュアルに押し出す。

餅：B案は婚活女子に焦点を当てると面白いかな。旅先だから旅行好きな人と出会える。婚活というものがあれば積極的にいけるんじゃないか。憧れの国際結婚と煽ったりしても面白いと思った。

米村：大きく、くくるとちやいくんと同じなの？

餅：清纯だから違います。出会いの場が旅行なら一緒に旅行できる。

婚活女子のインサイトを考える。

米村：どういうインサイトがあるかな？

キャサリン：婚活って何歳くらいから？結婚したい人はみんなあてはまる？

鶏肉：アラサーなイメージ。

ミミミ：婚活って言わないものじゃないの？言ったら失敗みたいなの。

ちやい：結婚したい。と言ってる人は婚活女子ではない？

結婚したいって言ってる人は婚活に当てはまらない？

鶏肉：違いますね。普段からオープンに言える人はまだ余裕を持っている。

ミミミ：そうしたら広告でアピールできないんじゃないか？

餅：広告を女性誌限定にすればいけると思います。

だっち：女性だけのターゲットでは狭いのではないか？

そもそもユースホステルって今誰が行ってるんですか？女性ばっかじゃ狙えないですよ。

餅：現段階では男性利用者が多いユースホステル。

バックパッカーが利用するようなものだからセキュリティ的にも男の人が多いと思います。

ロッカーに鍵がなかったり。物は持参してくださいって感じなので女性は少ないかも。

えいじ：そもそもバックパッカーと結婚したいんですか？ 収入大丈夫かな、ユースホステルで。っていうので判断しちゃうんじゃないかと。

餅：ユースホステルだけでやらなければいいんじゃないかと。

婚活パーティーもそろそろ飽きたし、ユースホステルみたいな新しいコンテンツ行ってみるかな、ワイルド系も捕まえられるかもしれないし。みたいな感じ。

インサイト案 **ワイルドな人と出会いたい？**

米村：ワイルドな人と出会いたいでもいいの？

餅：休日はワイルドな人と出会いたい。平日は企業に勤めて、休日は山登りみたいな感じの男性。アクティブ系男子。

キャサリン：それなら山か川いけばいいんじゃないの？

インサイト案 **旅を好きな男性に出会いたい？**

米村：男の人はどうあるべきってとこがあるんじゃないの？

旅を好きな男性に出会いたい。

インサイト案 男性の本当の顔を見たい？

鶏肉：本当の顔を見たい。まさか一緒に住むわけにも行かない。

日常的な面が見れるなら行ってみたいかも。

ベトナム：婚活の場って結構たくさんあって、例えばお料理教室や BBQ などコミュニティ的なものがある。

料理が好きな人と出会いたければそのコミュニティに行く。アクティブ系な男子と出会いたければユースホステルに行くというコミュニティ提供の場としてはありかもしれない。いろんな中のひとつとしてあるのかなとは思いました。

米村：婚活女子のインサイトにユースホステルが刺激できるか？

婚活女子の思ってることのひとつにユースホステルが何か刺激できるか。

ポッキーこの前ユースホステルとまったって言ってなかったっけ？小平から歩いて湘南まで歩いて行って歩いて帰ったんだっけ？

ポッキー：でも特に交流はなし。外人の方に話しかけられたけど英語話せなくて交流できなかった。

米村：どういう人が泊まった？

ポッキー：若い男、外国人。

だっち：ミーティングとかなかったの？

ポッキー：なかったですね。ミーティングあったかもしれないけど気づかなかった。

鶏肉：最近はないとこも多いらしいですよ。

米村：カプセルホテルがあればそっちの方が良かったみたいな感じだね。

婚活女子のインサイト、こればかりはわからないね。

りんご園：ユースホステルでの出会いはありだとしてもその後遠距離になってしまうんじゃないか？

相手がどこに住んでるかわからないから一時的なものはいいいけど、後で連絡はとれないかも。

米村：ちゃいくんが言ってるのはそれがいいってことだよな。

ちゃい：後腐れなし。

餅： 男性と女性はちがう？

男性と女性のインサイトにギャップがあるんですね。

米村： ちょっと置いて次いこう。

〈えいじのストラテジー〉

A案

【ターゲット】

20～30代のひとり旅をする女性

そもそもユースに対する、『安かろう悪かろう』といったイメージを払拭しないといけない。

そのためには、女性の目に適うことが一番効果的で、

それによりクオリティも保証されるし、安全性への不安も解消できると考えました。

その上で、女性ひとり旅。

【インサイト】

女性のひとり旅には、「自分と向き合う旅」「それまでの自分をリセットする旅」といった

裏テーマがあるようです。（そもそもひとり旅を、男はあまりしない、というか、しにくい気がします）

時代背景として、

おひとりさま、で自分にご褒美をあげ、

婚活、で出会いを得たろう彼女たちにとって、

今一度、これで良かったのか等、これまでをふり返る“自分ひとりだけの時間”が

必要なときが来ているのではないのでしょうか。

【商品特性】

そんな、少し考えごとをするための旅に選ぶ宿泊施設は、

ゴージャスな〇〇ラッド、のような宿では落ち着かないし、

おいしくてキレイになれる〇〇なお宿、では孤独を感じるかもしれません。

（元カレとこういう所に泊まったとか、楽しそうな若いカップルばかりだったりして）

それに対しユースのメリットは、

適度な距離感（＝過剰に受け入れられないことや、共同生活をしている感覚）が、

他の宿泊施設より心地よいこと。また、

「いろいろ考えたり自分を見つめ直すには時間がかかる」つまり、

長旅になることが多いので、経済的な負担も少なく済む、といったことが、

女性ひとり旅、の選択肢の一つになりやすいのではないのでしょうか。

はじめにも挙げた問題＝悪かろうの部分に関しては、webを見る限り、

意外とキレイな宿も多く「行ってみたら意外と良かった！」と

後々クチコミで評価が上がる可能性もありそうです。

『ご褒美と婚活の次は、ひとり旅』

えいじ : ひとり旅をする女性がターゲット。ユースホステルの印象は安かろう悪かろう。それを払拭するために女性の目にかなうようにする。

友達と行くときは旅館とか行く思うので、自分をリセットしたりという気持ちがバックグラウンドにあるはずなので、そこをついていく。

米村 : 今はインサイト言ってたの？

インサイト案 自分と向き合う。自分をリセットする。

えいじ : 自分と向き合うとか、それまでの自分をリセットするとか、そういう理由がある。

あと時代的におひとり様は自分へのご褒美。

婚活は相手を見つけようとしている動き。

自分ひとりで仕事やら恋愛やら今後の活動を考える旅。

米村 : 男はだめなの？

えいじ : 男はあんまりひとり旅行ってないような気がするんですけどどうでしょう？

鶏肉 : 結構行ってますよ。

米村 : 女性をターゲットに絞ったのであれば、男性にはない女性のインサイトを見つけること。

女性に絞ったのだから男性にはない女性のインサイトを見つけないと。女性と特に感じた根拠は何だろう？

えいじ : 男性はほっておいても安いと泊まる。だから言わなくても来てる。

女性に認められることでユースホステルのクオリティが保証されるのではないか。

米村 : 今の利用客が男性のみだとすると、女性がユースホステルをさけてる理由がプロポジションになる。

今の利用客は男性のみで、女性を呼び込みたい。

ならば女性がユースホステルをさけてる理由がプロポジションだね。

本当に利用客は男だけか？

でも本当に男しかいないの？

米村 : 旅行してるグループは女性の方が多い感覚だけだね。ユースホステルではそうでもないのかな。

何となくのイメージで語っていない？

えいじ : 女性グループが旅行でユースホステルを使ってないという確証は得てない。

米村 : 調べてわかることは調べる事。根本がまちがえている可能性がある。

利用状況とか調べてわかることは調べてこないと。

根本が間違ってたらプランも崩れてくる。あんまり説得力がない。

鶏肉 : ユースホステルという選択肢は男女関係なく若い人皆ない。

若い女性グループで旅行こうってなったときにユースホステルって選択肢はない。

ってというのは見ていて感じる。これは男性も。若い人すべてにあてはまる。

米村 : 女子ならではのインサイトは現段階ではない。

女性がこない、男性は来るとかじゃなくてあえて言うならばジェネレーション的に 70 年代に流行ってたもの。

若い人には男女関係なくユースホステル自体が抜け落ちている。

ひとり旅をしてもらうのは戦略的にはいいかもしれないが、インサイトではどうだろうか。

女子ならではのインサイトは特にない。じゃあ次いこうか。

B案

【ターゲット】

小学生～中学生の子供を持つ 30～40 代のお父さん。

【インサイト】

家族で旅にでる理由、それは子供に、

見たことのないものを見せてあげたい、やったことないことをやらせてあげたい、

そういった経験したことのないことを経験させ、一緒に驚いたり、笑ったり、ワクワクしたくて出かけるものである。

旅の目的地は、整理された海や山、もしくは ○○ランドや○○園といったエンタテイメント要素の強い場所になることが多い。

宿泊施設においても○○○三ヵ月のように流れるプールがあったり、○○ピアリのようにおとぎ話の国のものであったり、子供を取り囲む環境は旅先でも、ビジネスライクに仕立てられたエンタテイメント体験に偏りがちである。

もちろんそういった旅も、楽しい思い出になるが、旅本来の目的=いろんな経験をさせたいこととは、ズレが生じているのではないのでしょうか。

【商品特性】

その上でユースに泊まること、は、

親分のようなマスターがいて、(@ 御前崎のマスターは、気ままで勝手に気のいい酒好きな親父のようです)

そこに泊まる知らない人たちと、一緒にごはんを食べたり、話したり、お風呂に入ったり、眠ったり…。それはいわば、多人数が同じ屋根の下で暮らす大家族の生活に似たもの=(疑似)大家族体験になる。

『(核家族な)毎日とは違う、大家族体験!』

(奥さんは、旅行の時くらいラクしたいし癒されたいハズです。ただ宿泊費が安いことは説得理由になりやすく、一日くらいなら泊まってみても良いか、となるかもしれません)

※家族会員登録=¥3,500。宿泊費は約 ¥3,000/1人から

えいじ : ターゲットは小中学生の子供を持つ 30 代の家族。

インサイトとして子供に経験したことのないことを経験させたい。

目的地はエンターテイメント性のある場所が多い。旅先に選ぶ場所もエンターテイメント性のあるものばかりで人と触れ合うのは難しい。Usp は知らない人と同じ屋根の下で過ごすことで大家族の生活をさせることができる。そういう経験をさせるために家族旅行に使ってもらおうということ。

子どもを持つお父さんのインサイトを考える。

インサイト案 大家族の経験をさせたい

米村：小中学生の子供を持つ親は大家族の経験をさせたいということ？

えいじ：核家族で、家族の構成が減って来ている。

ユースホステルは大家族の生活様式の経験ができるのではないか。

米村：団魂の世代ジュニアが自分の子供の育て方に問題意識をもっているケースは多いかもしれない。

大家族の雰囲気というのを体験させたいというのは曖昧だけれど、70年代の空気なら

ちょっと面白い。小中学生の子供を持つ親はもうちょっと若いかもしれないけれど。

70年代は学生運動もさかんで若者が日本のために何かしないといけないんだって考えてる時代。

若い人たちのエネルギーが志に向かって熱が集まっていた時代。それが今の団魂の時代。

その子供たちがターゲットだよな？その人たちは、自分の核家族でちまちまと子供たちを育ててる。

〇〇しちゃだめって育てているのはいけないんじゃないか？という気持ちはあるかもしれない。

「子どもと一緒にどこ行こう？」「ものより思い出。」ってキャンペーンもあったけど。

どういうインサイト何だろう？

鶏肉：自分だけで育ててちゃ偏るからだめ。普段の生活から他人と関わる機会は減っている。

ユースホステルに行けば他人と自分の子どもをかかわらせることができる。

米村：子どもが見たことない景色って大自然とかそういう話ではないかもね。

インサイト案 両親以外の大人と接しさせたい。

米村：両親以外の大人と接しさせたい。

ミミミ：自分がもし親ならそうさせたいと思った。

子どもがどう他人と接しているかを自分で見れるのがいいかなあと思った。

米村：近所の叔父さんが人の家の子供を叱るコマーシャルもあったよね。「人は触れ合って育つ。」ってコ

ピーだったかな。そういう気分なのかな。

りんご園：子どもをたくましく育てたい。自分たちが子供の頃は外で遊んでばかりだったのに、

どんどんデジタル化しているのが不安。もう少しアナログな触れ合いを持ってほしい。

インサイト案 子どもを社会につなげたい。

米村 : カメラ女子にもあったけど、子どもを社会につなげたいというのは？

もちろん学校も行っているけど、社会につながってる感じはしないのかな？

りんご園 : そうですね。ゲームの中でつながってるようなイメージ。

生身の触れ合いはあんまりないような。

ベトナム : どうしても同じ年齢の子供達の環境で育っているけど、それを縦に切って色んな世代の人がいる中に放り込む。子どもにとってはかなり刺激的かな。

〈まばたきのストラテジー〉

ターゲット : 40代～50代×婚活

ポイント : 出会い、懐かしさ

ユースホステルを知っている世代の懐かしさを喚起。

ユースホステル独特のミーティングや自然な出会いを婚活に活かせないか？

婚活…結婚相談所、というのに抵抗がある人、出会いを求めている人向け

ネット婚活に抵抗が…ある **71%**

抵抗がある理由 (以下上記サイトより引用)

- ・モノ感覚で 結婚相手を選ぶ様でいやだ。
- ・将来 子供に ネット婚なんて言えない
- ・直接の出逢いを大切にしたい。婚活するにしても情報から入るより、身の周りなどからのフィーリングを大切にしたい。その気になれば、出逢いは自分で創り出せると思う。
- ・出会い系やってるのと同じじゃん

→顔の見えない関係に不安を感じる。リアルな出会いを求めている。

ユースホステルを経験したことがある。免疫がある。

ネットは不安だが自然な出会いを求めている。

婚活の場をユースホステルで提案する。

まばたき : ターゲットは年を取った婚活してる人。男女問わずです。

ポイントにしているのはユースホステルの出会いと懐かしさ。

全盛期を経験したことある人で、婚活している人にターゲットをしぼればいいのかなど。

婚活にも色々手段があって、ネット婚活というのもある。これには70%くらいの人は抵抗がある。それはモノ感覚の出会いであったり、将来自分の子どもにネット結婚と言いたくない。

直接人と触れ合って出逢いたい。フィーリングを大切にしたいということでリアルな出会いを求めているのかなど。

米村 : 出会いの場にするってことだよな？

この年代にしたのはユースホステルのいいところ知ってるからだよな？

まばたき : そうです。

鶏肉 : 本当はもうちょっと上ですよ。

まばたき : 60代だけでなく、40代50代もユースホステルをよく知っている事実。

それでちょっと調べたんですけど、ユースホステルが流行ったときの世代は今の60代っていう話だったけれど、昔のユースホステルは規則が厳しかった。だから中学生の旅行でもユースホステルなら親が許していたって話があった。なので、もうちょっと枠は広いのかな。20代じゃなくても行っていた人がいるのかと思った。

インサイトを考える。

米村 : 考え方としては、ユースホステルの広告をうったとして、知らない世代よりも反応はあると思う。

でもインサイトを考えるときは何を彼らが今、何を考えてるのかを考えなきゃいけない。

それも結婚適齢期の人たちにはない独自のインサイトを考えてきたいと思うんだけど。

インサイト案 直接的な出会いを求めている。

まばたき : 直接的な出会いを求めている。

結婚適齢期の人たちよりも直接的な出会いを求めているのではないかな？

米村 : 本当にそうなのかな？小霜も言ったように最近のネット販売の最大の購入者は60代。

それでいうと結構ネットを見たりするんじゃないの？

いわゆるお見合いサイトじゃなくて実際の出会いがいいっていうデータとかある？

まばたき : ネット婚活のデータを見て、抵抗がある人が多いっていう調査があった。

米村 : 自分の作戦の中でインサイトを作っていないか？

でもかつてはやったような、婚活のための合コンパーティーをやりますっていうのなら、手っ取り早い婚活になるかもしれないけど、旅行行ってたまたま出会うっていうのは婚活の道としては険しいものになりそう。

今言ってるのは自分の作戦の中でインサイトをつくってるような気がする。

実際、僕と同年のバツイチ女子の知り合いに、もう一花咲かせるって言ってテニスサークル通ったりする人もいるけれど。

※ここで、米村が途中退席。自習となる。

だっち：インサイトをつくっちゃってる気がしました。

まささらにしてもう一度しっかり考えてみませんか？

〈キャサリンのストラテジー〉

課題：ユースホステル

現在、世界 80 カ国に 5500 か所の施設があるが、日本国内では全盛期に比べて施設数・会員数ともに大きく減少している。しかし、会員制ということもあり、今存続している施設は良質でリピーターにも人気があるものが残ったとも言える。

主な利用層 30 代～中高年(特にリピーター)に向けて、青春時代を懐かしむ旅行の提案をしていきたい。

ターゲット層 高校生・大学生の母親

- ・家事や育児に追われて海外旅行に行けてない。
- ・家計を守る身として、贅沢はしても支出は抑えたいと考えている。
- ・一度くらい、子供にも海外経験をさせたい。
- ・ユースホテルという名を聞いたことがある（利用した事がある）。

長所

- ・経済的
- ・食事付きの所やキッチンで自炊の所などニーズに合わせられる。
- ・自炊やシーツ持ち込みなどによって支出を更に抑えられる場合がある。
- ・こどもにも目が届く。

キャッチコピー：可愛い子には旅をさせろ

母親は、「わが子の将来を考えると国内外にしろ旅行によって様々な経験をしてほしいと願っている。古くから言われてきた諺にもあるように、何かを掴む為には外に出ていかないとね。」とお父さんを説得させつつ、可愛いってそりゃあたしの事に決まってるでしょ！旅行ぐらい連れて行ってよねと心に思っている。子供を口実に自分も羽を伸ばすチャンスを掴もう。

市場

リピーター世代が多いことから懐かしさを思い出させると同時に家族と言う単位の新規開拓を目指す。次には、その子供たちにこういった施設がある事を知ってもらい、自立して旅行に行く時の新たなリピーター層として狙う。

だっち : どうして高校生の子どもを持つ母親をターゲットにしたんですか？

キャサリン : 本当は一度くらい子どもに海外経験をさせたい、でも子どもだけで行かせるのは心配。

餅 : 高校生の子どもに思うかなあ。

キャサリン : 初めてなら不安じゃない？

餅 : 留学先がアメリカで母親もそこに行きたい。けど理由がないから家族旅行を口実にしちゃおうってイメージなのかなって。

インサイト案 子どもに海外を経験させたい。(海外のユースホステルを含む場合)

インサイト案 家族旅行に仲良くいきたい。

だっち : これって海外のユースホステルもありなのか、それとも日本のユースホステル限定で考えるべきなのかは、確認するべきでしたね。

基本的には、クライアントはユースホステル協会っていう体で、日本にもう一回ムーブメントを。って感じですよ？

子どもに海外を経験させたい、と、家族旅行に仲良く行きたい、の他に何かありますか？

インサイト案 自分も旅行に行きたい。

キャサリン : さっき言った子どもをダシにして…ってのも。

〈まるのストラテジー〉

A案

長所

- ・経済的・気軽・どこにでもある安心感・見知らぬ人と相部屋（※）・ミーティング（※）

短所

- ・プライバシーがない（※）・盗難の危険性（※）・相部屋になった人との相性が悪いと大変（※）
- ※ 見知らぬ人との相部屋になる、プライベートがない状況を楽しめる人にとっては喜ばれるサービス、そうでない人にとっては喜ばれないサービスなのではないか。

ターゲット

- ・知らない人との出会いを求めている人
- つまり…現状に変化が欲しい人→刺激が欲しい人→将来を決めかねている、現状を変えたい人なのでは、と仮定。
- ・お金をかけずに旅行、宿泊がしたい人
- 学生、フリーター、十代後半～二十代
- ・プライバシーがない状況を、一人で居るより良いと捉える人（※）
- ◎ この三つを満たす人により響くのではないか。

インサイト

- ・背景
- 「自分探しブーム」の風潮
- あいのり（1999年10月～2009年3月）、「自分を磨く」「自分へのご褒美」という表現の登場（1989年頃～）中田英寿の自分探しの旅（2006年7月引退後）、ユーキャンCM「インドで自分探し」（2010年1月）。。
- ◎ 進む道を決めきらずにふわふわしている状態の十代後半～二十代の人々にむけて、旅をすることで『前向きな変化』が得られる、と示し、『気軽』に『お金をかけずに』旅行するには、ユースホステルと示すことで、取り込むことができるのでは、と考えました。

まる：学生をターゲットにしている、長所と短所を考えたときに、見知らぬ人と同じ部屋だったりミーティングだったりっていうのが人によって印象が違うけどそこがポイント。

大学 2 年生くらいを想定すると、就活はまだだけど何かしないと不安みたいな人に旅行したら何か変わるよと訴求したら響くかなと。

お金があんまりかからないので学生をターゲットにするのがいい。

インサイトは就活のために、何かしなきゃとか何か新しいことしたいって思ってる人は取り込めるんじゃないかなと思いました。

目的がある人はそれをやるけど、目的がない人に旅行があるよって進められるかなって。

ターゲットとインサイトを考える。

だっち：ターゲットは就活を意識している大学 2 年生？

ターゲットは就活を意識してる 2 年生でよろしいでしょうか？

まる：就活を意識してる人もいれば、大学生らしいことしてないって焦ってる人も。

餅：でも 1 つ上の先輩が就活で打ちのめされてるのを見ると焦ったりはしますね。

鶏肉：ターゲットは就活している学生では？

じゃあ、ターゲットは就活してる学生では？

まる：でも 3 年生になったらネタづくりしてる暇なさそう。

キャサリン：1 年生と 2 年生は何が違うのかな？

ベトナム：大学二年生は、自分の時間を自由に使える。

気持ちの余裕があるんじゃないか。

1 年生は慣れるのにいっぱいいっぱい、2 年生は慣れて余裕が出て来る。

3 年生になったら段々就活になってる。2 年生にスポットあてるなら自分の時間を自由に使えるということかな。

キャサリン：もっと楽しいことしたいと。

ベトナム：それをするには最適な時間なのかなあ。

だっち：大学二年生のインサイトは？

本人たちはどういうインサイトを持っているんですかね。

僕らからしたら、最適な時間を有意義に使えばいいのに！って思うけど、当人たちが考えてることを置き去りにしたら、ずれちゃうと思います。

鶏肉：まずターゲットの大学 2 年生という事だけど、2 年生という事を意識しない人が多いのでは？

1 年生と 2 年生の違いを完全に理解できるのはどれくらいいるかって話で、やってたことをそのままやる人はいるだろうけど、そこまで 2 年生だって意識する人はあんまりいない気がする。成人って意識はあっても。

ちゃい：はたちになるって意識はあるかも。何かしなくちゃって思ったことはある。

鶏肉：今頑張ってる事を継続するのが、2 年生。

2 年生のインサイトとしては、その時頑張ってたことをそのまま頑張ろうって思うことの方が多い。サークル頑張ってる子はそのままサークル頑張るみたい。継続してく傾向の方が強いかも。

ミミミ：バイトのお金を一気に使いたい。

バイトでお金貯まってくるから、貯めたお金を一気に使ってみたっていうのもあるかも。

まる：それはあったかもしれないです。

インサイト案 自分で働いて貯めたお金を使いたい。

ミミミ：自分で働いて貯めたお金を使いたい。

自分で働いて貯めたお金を使いたってなるのかな。

インサイト案 自立したい。

鶏肉：自立したい。

そうするとやっぱりちょっと自立したいってことになるのかな。

B案

ターゲット

- ・ノマドワーカーと呼ばれる人たち

オフィスでも自宅でもなく、外出先で仕事をする人々が「ノマドワーカー」と呼ばれ、近年注目を集めている。「ノマド」とは「遊牧民」という意味で、『オフィスのない会社』『働く場所を自由に選択する会社員』といったワークスタイルを実践している人々の意味でも使われる。

*ノマドワーカーが抱える問題点

→電源、無線LAN環境がそろっている場所がなかなか無い。

→カフェなどでは、行きたい時に行きたい席が必ず確保されるわけではない。

→混んでいると長居ができない。

・作家がホテルに缶詰で仕事する、ような形態を、働く人々に広める。その環境としてユースホステルを示す。

- ・安く、気軽に、使える→学生、フリーター、若い社会人にむけて。

インサイト

・決まった仕事場ではなく、カフェを転々として働くのが合っているノマドワーカーは、そもそも、周りから話し声が聴こえるような雑然とした環境で作業をすることを好む傾向にあるはず。

・決まった仕事場だと煮詰まる、環境を変えたい、という動機でカフェが仕事場となっている人々なので、『次に変えるなら』『新しい環境はユースホステルに』という風に、語りかけやすいのでは。

まる : ふたつめはターゲットがノマドワーカーの人。オフィスではなく、自由に働く人のこと。オフィスはあるけどカフェの方が働きやすいからそっちで働く。しかしカフェだといつも好きな席が空いてるとは限らないのが問題。あとは長居できなかつたりするのも問題。イメージとしては作家さんがホテルに缶詰めで仕事するように働く環境として使うのはどうと売り込めないかなと。

ターゲットのインサイトを考える。

りんご園 : 決まった場所で働きたくないって人たちのインサイトは？なんで決まった場所で働きたくないの？

まる : そういう人たちがいるって聞いただけなのでちょっとわかりません。

生郎 : モノを持ちたくないってことじゃないですか。

インサイト案 必要なものがあるところにいたい。

ミミミ：ノマドは必要なものがあるところに移動していくってイメージ。

インサイトは必要なものがあるところにいたいってことですかね。

だっち：ノマドが行く色んなところと、ユースホステルは似てると思う。けど表層的なものをすくってる

感じで、もしかしたらノマドの人たちからしたら何いってるんだってなるかもしれない。

ちなみに僕らもノマドなんですけど、色んなところにアイディアスポット持ってますよ。

りんご園：それは居心地がよってことですか？

猫屋敷：あそこ行けばアイディアでるっていうジnkスの場所であったり？

インサイト案 アイディアを出すために気分転換したい。

だっち：そうですね。場所を変えるのは、仕事のアイデアを出すためのひとつの気分転換ですね。考えが

淀んできたら場所をかえるし、アイデアを出すため集中したい。とにかくアイデア降ってこい！

といつも思ってます。ノマドワーカーのインサイトとしては、特殊かなあ。

〈たこやきのストラテジー〉

USP：

宿泊費が安い。

ターゲット：

大学生（男女）

ターゲット・インサイト：

「低価格で目的を達成できるのならば、多少の不便は気にならない」

解説：

夏は海、冬はスキー・スノボ。時間と興味関心はあるけど金は無い。低価格で目的が果たせるならば多少の不便など気にしない学生にとって、「安さ」は純粋に強い売りになるはずである。また、競合であるビジネスホテルやユースホステルでは、そういったアウトドア・イベントを存分に楽しめるイメージは薄いため、差別化を計ることもできる。

たこやき：USPとしてやはり宿泊費が安いっていうこと。ターゲットはお金がない学生。低価格で多少の

不便は厭わない。大学生は時間と興味があるもののお金はあまりない。安いというのは純粋に

売りになるのかなと。競合にあたるカプセルホテル、ビジネスホテルなどは学生の旅の目的の

ひとつと線引きをすれば差別化できるかなと。

インサイトを考える。

だっち：インサイトは何だと思いますか？

インサイト案 安く目的を達成したい。

たこやき : 安く目的を達成したい。

安く目的を達成できれば多少の不便は気にしない。安く目的を達成したい。全体のクオリティよりも安さを優先させたい。

だっち : 安ければ何でもいい？

たこやき : ちょっと違うかも。例えば浜松に鰻を食べに行くので学生なら鰻が食べれば満足だけど、社会人になると経路や鰻の種類まで気にするといった感じ。短くすばつとまとまってないけど。

だっち : 短くすばつとまとめると何だと思えますか？

たこやき : 安ければ不便は苦にならない。

ミミミ : お金がないけど旅行したい。

インサイト案 貧乏だけど楽しく旅行したい。

だっち : 貧乏だけど楽しく旅行したい。

インサイト案 お金をあまり使わず旅行したい。

たこやき : 今まで出てる感じなので。お金をあまり使わず旅行したい。

貧乏なのが好きみたいな。こんなにお金なくて辛いぜ今月みたいな感じ。

もしかしたらそういう学生にささるかも。追い込まれてる自分が好き。

りんご園 : 旅行にいったという事実がほしいということか。

B 案

USP :

普段の生活では出会うことの有り得ない人々と出会うことができる場である。(年齢も様々)

ターゲット :

就職活動を控える大学2年生

ターゲット・インサイト :

「明確なビジョンが見えない中、迷いと不安とか、見て見ぬふりをしながら焦ってる」

解説 :

大学二年生は、「学生」から「社会人」へと移り変わってゆくことを初めて強く意識し始めるタイミングである。自分の将来の明確なビジョンが見えないまま、時間が刻一刻と過ぎてゆく中で、迷いや焦りを感じ始める。

ユース・ホステルでは普段の生活では出会うことの有り得ない人々と交流を持つことができるため、ターゲットにとって視野が広がる経験、また抱えているモヤモヤに対する答えを出すきっかけと成りうる。

たこやき : もうひとつの戦略は、大学生 2 年生にすすめる。

ユースホステルの特徴は普段会えない人と出会う。就活を意識し始める時期、それは学生が終わるということ意識するときであり、大人になることを意識し始める。でも将来どんな人になるのかまだ明確なビジョンが描けてないと思って。そんな中でインサイトとしては見て見ぬ振りをして焦ってるのではないか。3 年生となるとユースホステルに行ってる場合ではないが、2 年生なら普段接することのない人と接することで新たに何か開けるんじゃないかなと。

インサイト案 将来のビジョンが見えなくて焦っている。

たこやき : おれはどうなるって考えてる人がいる中で、自分の将来のビジョンが見えていないから焦っている。

キャサリン : 自分に自信が持てない？

たこやき : 自信が持てないっていうよりは心の底でもっとちゃんとしたって思ってる。心の底ではちゃんと思ってるものの、ある程度墮落している生活を送っている。

あと 2 年もあると思いつつも後 2 年しかないと思ってる。

自分がどうなるか見えないんじゃないか。だから焦ってる。

だっち : 一度ここで終了しましょう。